

佐倉市議会だより



2021年8月1日
(令和3年)

発行・佐倉市議会 編集・広報公聴委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL043-484-6254 FAX043-486-2508
佐倉市ホームページ <http://www.city.sakura.lg.jp> メールアドレス gikai@city.sakura.lg.jp



6月定例会

会期 6月7日～28日

一般会計補正予算など 16議案を可決・同意

佐倉市議会は、6月7日から6月28日までの22日間にわたり、令和3年6月定例会を開催しました。

今定例会では、「令和3年度佐倉市一般会計補正予算」など議案12件、諮問4件が提出され、審議の結果、可決、同意しました。

リース期間の終了に伴い引き続き使用するため、市が財産取得した第二・第三西志津学童保育所プレハブ校舎(西志津小学校敷地内) 一議案第10号一



請願については、「国における2022年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書」など5件、議員提出議案については、「国における令和4年度教育予算拡充に関する意見書」など9件がそれぞれ提出され、審議しました。

また、一般質問には、

各会派の代表質問に6人、個人質問に8人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

5月臨時会

ひとり親世帯対象の 生活支援特別給付金

約1億523万円専決処分を承認

5月臨時会を5月18日に開催し、市長から「専決処分の承認を求めることについて」など議案4件が提出され、審議の結果、いずれも承認・同意しました。

また、議長と副議長の選挙を行い、議長に平野裕子議員、副議長に高木大輔議員を選出するとともに、各常任委員や議会運営委員の選任を行いました。

※議会の構成については8ページに掲載しています。

議長に 平野 裕子 議員 を選出 副議長に 高木 大輔 議員



第63代 副議長
高木 大輔 副議長
平成23年4月初当選以来、連続3期目。この間、文教福祉常任委員長、建設常任委員長などを務める。
〔所属会派・さくら会〕



第65代 議長
平野 裕子 議長
平成19年4月初当選以来、3期目。この間、第62代副議長、総務常任委員長などを務める。
〔所属会派・さくら会〕

全国市議会議長会 表彰

議員として、地方自治の伸張、発展と市政の向上、振興に貢献された功績に対し、次の議員が全国市議会議長会から表彰されました。

一般表彰

◆議員在籍10年

高木 大輔 議員
平野 裕子 議員
為田 浩 議員
石波 康郎 議員

佐倉市議会ホームページもご覧ください

- 本会議や常任委員会等委員会の会議録が検索できます。
- 本会議の様子は、ライブ中継(開催時間中)・録画中継(開催日のおおむね1週間後から)で視聴できます。

各検索サイトからは **佐倉市議会** を **検索**



議会ホームページ
二次元コード

市政に関する

一般質問

6月定例会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般質問は質問時間を短縮し、6月14日から6月17日までの4日間行いました。市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

詳細については、市役所1号館2階市政資料室・市内各図書館にて会議録（8月中旬発行予定）の閲覧、または、佐倉市議会ホームページの会議録検索システム（8月中旬配信予定）からご覧いただけます。

一般質問通告要旨

代表質問 ※は持ち時間40分、それ以外は20分。（ ）内は会派名。

Table with 4 columns: Member Name (e.g., 敷根文裕, 岡村芳樹), Party (e.g., さくら会, 公明党), and a list of 5 questions per member.

◎上記の通告内容は、質問者から議長に文書で通告のあった内容に従い、大項目のみ掲載しています。

代表質問



さくら会 敷根文裕

新型コロナウイルス感染症

市が優先対象とした高齢者施設関係者、基礎疾患の方たちへのワクチン接種予定を伺う。

優先の方たちへ7月中旬に接種クーポン券を発送予定。その後年齢を区分して順次発送予定。

近隣自治体では大規模集団接種等でクーポン券が必要なため前倒しで発送している所もある。早くできる所は進めていただきたい。

子ども支援 本年3月に待機児童ゼロを4年ぶりに達成。コロナ禍で出生数の低下もあつたと思うがその要因は。

新規施設が増えたこともあるがコロナ禍で保護者が職場復帰できなかったことも一因としてある。

勤め先から解雇され生活困窮者も増えている。保育との関連性や全庁的に支えていけるようにシステムづくりを要望する。

防災無線のアナログ方式が使えなくなるためデジタル改修を終えているが現時点で防災無線が聞こえないという声もある。戸別受信機の配備計画を伺う。

2千台を整備予定。防災指定区域内の重点整備地区の65歳以上の世帯や病院、地区代表者などに貸与予定。防災無線が聞こえないという地域の方たちへも丁寧な情報を集め対応していただきたい。

国土交通省では官民間わが河川流域内へ関係者全員が共同して行う治水対策、流域治水へ転換を打ち出している。取り組みを伺う。

印旛沼や鹿島川、高崎川の周辺で度々浸水被害が発生していることから、印旛沼流域内の自治体で連携協力してまいりたい。

近隣自治体にも当事者意識を持っていただくことが大事。「うちには関係ないよ」と言われぬようにしていただきたい。

物井駅の東西を結ぶ道路整備に関わる要望書、250世帯近い方が僅かな活動期間で集まった。市長に提出された要望書について、四街道市とどのように協議を進めていくのか伺う。

写しを提出。物井駅の東口と西口を結ぶ道路の整備は、駅周辺の利便性向上につながるものと考えており、機会を捉えて四街道市に働きかけたい。



公明党 岡村芳樹

各種基金の見直しについて 昨年度、監査委員から基金運用の状況審査意見書で指摘の「土地開発基金」について、平成30年度決算で指摘の際には、資産管理経営室が「基金の在り方、今後の活用方針を検討する」と報告があった。どのように見直しの検討をしたのか、今後の方向性を伺う。

近年では、短期間に地価が急騰する可能性が低く財産取得は予算措置後に議決を経て行う原則を踏まえ、

存在意義を再検証する時期である。財政状況が厳しく、大規模な用地取得を要する計画等も無いため、縮小も含め在り方を財政部局と協議する。

財政的に緊急事態宣言級の状況であり、いたずらに基金を積み立てるだけでなく、真に必要な施策に市税等の歳入不足を補う財源として有効活用するよう改善を図っていただきたい。

市長、いつまで先延ばしするのか。「土地開発基金」は、財政・資産経営・産業振興など関わり、それぞれ身動き取れない状況だからこそ市長の英断が必要だと申し上げている。唯一主導できる市長から決意を伺う。

必要な施策が講じられない状況は、絶対に避けなければならない。最終的に私

が責任を持って判断する。ゼロカーボンの表明 佐倉市第5次総合計画にSDGs推進を盛り込み、ゼロカーボンの実現に向けて、素社会へのシフトに向けて、持続可能な資源循環型社会の構築や都市全体の将来像に関わる課題に着手するなど、全庁的な取り組みが重要。「2050年ゼロカーボンの実現」を表明すべき。

国の方針に基づき2050年温室効果ガス排出ゼロの実現に向け、現在「2050年ゼロカーボンの実現」を表明を進めている。

今後、環境基本計画や地球温暖化対策実行計画を見直し施策を進めていく。

女性負担軽減の防災対策 公明党は、災害用備蓄品に液体ミルクを推進した。

女性の不安軽減のため、生活用品も加えるべきである。

答 大規模災害時には、市民や帰宅困難者など多くの避難者が、備蓄品を持ち出すことができない場合も想定される。女性が抱える避難所生活での不安解消や生活必需品の1つとして、資器材の備蓄を検討する。



新型コロナワクチン

問 状況を見ながら前倒しで接種クーポン券の送付が必要と考えるが見解を伺う。

答 年代別にクーポン券を順次発送することで、混乱が生じないように案内する。

問 高齢者のワクチン接種を7月末までに完了するには、どのような改善や協体制度を考えているのか、現状の対応についても伺う。

答 接種回数を増やしていく必要があるため、医療従事者を確保し体制を整えている。他の所属職員の協力を得て、高齢者へ個別に電話連絡を行っている。

問 もったいないバンク活用やより混乱の少ない予約方法へ改善し、接種対象者と行政の負担軽減が図れる取り組みを要望する。

問 子どもの貧困について

問 子ども食堂とフードバンクの支援策について伺う。

答 子ども食堂の活動が市民協働事業の要件に合致し

ていれば、財政支援の対象となつては、現在の善意銀行の仕組みを生かしながら、周知啓発に努める。

問 GIGAスクール構想におけるタブレット操作で、慣れずに取り残されてしまう児童生徒への支援を伺う。

答 ICT支援員の協力を得ながら個別の支援を充実させることが重要。子ども同士で教え合うことも大事であり、情報活用能力の育成につながるかと考える。

問 子どもの貧困は、貧困の連鎖を断ち切ることが必要となる。スクールカウンセラーなども積極的に活用して学力保障を行い、子どもの居場所づくりへの支援を要望する。

自治体DX推進計画

問 自治体の行政手続オンライン化にはマイナンバーカードの普及が不可欠である。市民の申請促進や交付体制の充実について伺う。

答 マイナンバー制度は、利便性の向上とDXの基盤になると認識している。市民周知に努め、また、平日の夜間や休日でも交付できる体制としている。

入札制度について

問 最低制限価格の算出式の設定の根拠を伺う。

答 従前の最低制限価格である予定価格の70%の金額を考慮し、他団体の算定式も参考にして設定した。

問 落札率が下がっている案件もあるが見解を伺う。

答 概ね適切な価格の範囲と考えている。

市民ネットワーク

問 接種予約は電話、インターネットとも繋がりにくく改善を要望した。

答 電話回線は増設できず、インターネットのサーバーを2台増設し対応した。



新型コロナワクチン接種

問 ワクチンの安全性や副反応、治療方法について疑問や不安を持つ市民もいる。個人の判断を尊重し、強制は行わないように周知を。

答 接種は強制ではない。効果と副反応のリスクの双方を理解し、自らの意思で接種していただく。接種を強制したり、接種していない人に差別的な扱いをしないようパンフレットやホームページ等で周知している。

問 ワクチンだけで終息は難しい。検査を積極的に行うことが必要。松戸市では希望者に月2回、1回あたり2万円まで検査費用を助成。佐倉市でも独自策を。

答 医師等の判断なくPCR検査拡大の予定はない。

問 ワクチンだけでなく検査と両輪で行ってほしい。

新佐倉図書館の地盤問題

問 建設地は2019年の地質調査で重量構造物に適さないと判明したため設計

変更し、地上3階建てを2階建てにしたのではないかと。調査により設計変更したのではない。

問 地盤の支持層である地下25mに届く杭を使った基礎に要した費用は。

答 約1億4千万円。

ハザードマップの配布予定

問 現在新しいハザードマップがホームページに掲載中。内水氾濫を含めたハザードマップ配布予定は。



ひまわり会と市民オンブズマン

問 今年度末に配布予定。自治会に入っていない市民にも配布をお願いする。

問 ワクチン購入金額を厚労省に確認したが、3・6億回分で、1・2兆円と聞いている。1回当たり、約3400円であるが市民は無料。市が医療機関に払う委託料は幾らか。

答 全国統一で接種委託料は2070円+税である。

町内会・自治会の寄付金

問 町内会自治会は寄付金が多い。市内全体で幾らか。

答 昨年度自治会収集分は赤い羽根が1225万円、社会福祉協議会費が1886万円、歳末たすけあい

が828万円、赤十字は1527万円。

消防団への市内寄付合計

問 町内会等から消防団への寄付合計金額は幾らか。

答 寄付金等は、公務員である消防団にどう指導しているか。また、町内会自治会には、どう伝えていくか。

問 金額は承知していない。寄付金は請求しないよう指導している。町内会自治会には強制、義務的なものではないと周知している。

問 町内会自治会への支援は各団員の負担がかなり大きいと思う。町内会自治会への出勤回数ほどの程度か。

答 回数は把握していない。

第6期障がい者福祉計画

問 重度の方のグループホームへの対策は。

答 重度障がい者への支援が可能なら「日中サービス支援型グループホーム」を一か所整備する目標である。

JR佐倉駅周辺について

問 市民と観光客の交流スペースが必要と思うが。

答 同駅自由通路での観光展示拡充など、既存公共施設を利用した機能の向上について検討したい。

日本共産党

木崎俊行

東京オリンピックの中止をコロナ禍どう乗り越えるか

問 五輪開催には犠牲が必要、首相が中止を求めても開催されるなど、IOC会長等の日本が主権国家であることを無視する発言に対し発言の撤回と謝罪を求める意見書の送付を提案する。

答 関係機関が適切に判断

今後コロナ対策を最優先に考え意見書送付はしない。

問 ワクチン接種による集団的免疫力獲得の見通しは。

答 市民の7割が接種完了する必要がある、現時点では未定。

問 市独自のPCR検査予算を既に持っているが様々な理由でワクチン接種が出来る方もいるので、市民が低費用で検査を受けられるように予算執行が必要だ。

答 医師等の判断なく検査等を拡大する予定はない。

コロナ禍、昨年GDPは、リーマンショック以上の減

問 事業者向け融資制度の承諾件数は何だったが、金融機関への申請件数は。

答 承知していない。

問 今後は申請件数、不受理となった事業者の規模や業種の把握に努めてほしい。

甚大な経済不況時に水道料金値上げは先延ばしすべき

問 懇話会の提言には料金の改定時期は社会情勢等を踏まえ配慮を要するところだが、先延ばしすべきでは。

答 将来の大幅な改定を懸念。社会情勢を注視する。

個人質問



玉城清剛



環境保全について

問 まちづくりは、住みよい環境づくりと人づくりからと言われている。所得倍増計画等で大量生産や大量消費で膨大な廃棄物が発生し公害問題が各地で多発した。市は4Rを基軸として循環型社会の構築を進めているが、廃棄物対策についての考えを伺う。

答 廃棄物の発生を抑制することは喫緊の課題である。ライフスタイルの見直し、環境への負荷の低減が必要である。市の計画に基づき、4Rを基本方針に掲げ、オール佐倉で循環型社会の形成を目指す。

問 分別ゴミ収集は、4Rの市民啓発に有効な手段である。分別ゴミ収集について、市の見解を伺う。

答 循環型社会形成を目指すには、4Rは大変有効である。減量化や再資源化へ積極的な啓発に努める。

問 紙袋からポリ袋に変更したことは賛否両論あると思うが、色分けされ丈夫で、軽量で保管が楽である。焼却を確実に実施すれば優れていると思う。ゴミ収集袋について、市の意見を伺う。

答 市のゴミ収集に指定ゴミ袋制度を導入している。

6種類で色分けして、分別の明確化、収集効率の向上等を目的としている。

問 環境美化運動は市民団体系子どもたちがゴミ拾いを実施している。美化運動について市の考えを伺う。

答 我がまち佐倉を育む大切な重要な活動である。ご協力の市民に心より感謝する。



高橋とみお



新型コロナウイルスのワクチン接種予約システムについて

問 今回佐倉市が採用したワクチン接種予約システムの発注額（初期費用とランニング費用）を伺う。

答 初期費用は330万円。ランニング費用は2860万円。

問 業者との契約書の前提となつて仕様に、基礎数値が全くないのは問題だ。例えば、ネット申し込みは、秒間で何名を前提としているから、回線容量はこのスペックが必要などの積算根拠がない。今後、本システムで今回のような遅延が発生しても、仕様書を元には業者に指導一つできない。月額200万円のシステム発注としてはあまりにずさんだ。

接種券の発送について

問 64歳以下のコロナワクチン接種について、基礎疾患患者などの基準を設け優先順位をつけることには賛成

だが、接種券は極力早く一斉発送すべき。その理由は、市民に接種券を届けることが遅れた場合、国、県の大規模接種に申し込みができないリスクがあるからだ。また、国からの6月1日付の通知も、早期一斉発送をする要請がなされているはずだ。早期一斉発送について、市の見解を伺う。

答 今後の国、県の動向を注視し検討する。

問 大きな舵取りは、市民の負託を受けた市長にしかできない。極力早いタイミングでの市長の「一斉発送」の決断を期待する。

問 離婚後の養育支援について 離婚を考えている方への相談窓口について。



徳永由美子



答 市の法律相談、男女平等参画ミウズ、子どもを養育する場合はこども家庭課のひとり親家庭自立支援員が対応している。

問 養育費の取決めがない方への相談機関の紹介など取り組みはしているか。

答 離婚届の用紙と一緒に、養育費に関する相談機関の案内を配付している。

問 児童扶養手当を受給している方に、養育費の支払いが滞った際に肩代わりする民間保証会社との契約締結費用を補助する自治体もある。養育支援にどう取り

組んでいくのか。

答 できる限り多くの方が養育費確保につながるよう取決めの周知啓発に努める。

問 障害や医療的ケアがあることで子ども全体の1割以上が公園で思うように遊べていない。どう考えるか。

答 障害などがあることで子どもの成長に重要な公園での外遊びが制限されることは望ましくないと考える。

問 全ての遊具が車椅子でアクセスしやすい工夫がなされるなど障害があってもなくても遊べるインクルーシブ公園は必要ではないか。

答 大変すばらしいが、公園全体のユニバーサルデザイン対応、子どもたちの様々な状況に対応できる施設整備、利用者間の相互理解などの課題があり、先進自治体の事例などを参考に多様な視点で研究を行う。



稲田敏昭



ワクチン接種予約について

問 先行自治体でも電話がつながらない、オンライン受付も途中でエラーになったりした。佐倉市はどのよう

に検討してきたか。

答 他自治体の状況確認はしていたが十分な量のワクチン確保が確認され、希望する高齢者の接種見込みがあったので予約を開始した。

不公平感がでた。広報の仕方

不公平感がでた。広報の仕方

問 医療機関と協議し、よく分かり易く記載していく。

問 つながれば我慢できるがガイドダンスだけ流れて料金が発生。フリーダイヤルに変更する考えはあるか。

答 ナビダイヤルは回線数を増やすことができるためである。今後インターネット予約のニーズが増える想定されるため、引き続きナビダイヤルを採用する。

問 鳥獣被害対策実施隊の設置はどのように計画し取り組むのか。

答 今年度から3か年計画とし、実施隊設置に向け関係機関と協議をしている。

問 わな免許取得費用や活動するための費用など個人負担をなくすべきと考える。

答 国からの鳥獣被害防止総合対策交付金で活動経費に支援がされる。これを有効活用し個人負担がなるべく生じないよう対応する。

問 地盤調査後の設計変更

問 地質調査の報告書には、地下25mまでは地盤が弱く重量構造物の支持層に適さない

建設地の変更を検討すべきではないか。

答 地質は新町一帯から体育館の方まで連続している

問 地質調査後の設計会議で杭基礎に決定し、62本の杭に1億4千万円をかけた

が、自然災害への備えは盤石とは言えない。危険は回避すべき。また避難スロープは100mもあり車椅子

利用者は自力避難できるか。

問 構造対策は検討済み。

答 構造対策は検討済み。車椅子の方を一人で避難させる利用者はいないはず。

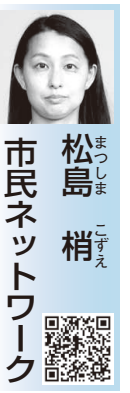
問 入り口のキャノピーは110トンもあり5千万円

もかかる。設置目的は何か。

答 景観に配慮し、城下町らしさを演出するため。



研修等に対応できる。



松島 梢
市民ネットワーク

ペットボトルの集積所収集

廃棄物減量等推進審議会、現在の拠点回収をやめて集積所収集にする案が検討されている。その際、ラベルとキャップは外すが、分別せずにペットボトルも一緒にプラスチックごみの黄色い袋に入れて出すことになる。分別する意味がなくなるのではないかと。

ごみ袋を分けなくても、リサイクルが可能である。

学校での性教育の取り組み

子宮頸がんは性感染症であるHPV感染症が主な原因で発症。感染は性交渉によるもの。性行為が昔より低年齢化しており、低年齢での最初の性交渉はHPV感染症の危険が高まる。市内小中学校の性感染症や子宮頸がん予防啓発を含めた性教育の現状はどうか。

中学校では性感染症予防の領域において性感染症の原因について触れながら、感染経路には性的接触があることを指導している。子宮頸がんはがんの予防の領域において指導している。

海外で性教育は基本的な権利として認知されているが、日本の性教育は遅れをとっている。子ども達に正しい知識を得るため助産師や産婦人科医等の外部講師

による取り組みを要望する。給食設備の老朽化について

佐倉の売りである自校式給食に必要な設備の改修費が予算査定で9割減額された。設備の入れ替えは。経常経費が予算に計上されているので、現場を確認し、随時行っていく。

生活保護制度の運用改善を

親族への扶養照会で金銭的援助の回答は約2%。厚労省は当事者の意向を十分反映するようにと通知を分発。照会がネックとなり申請をためらう人が多いがこの通知以降、市の対応は。相談時に丁寧に聞き取り、照会は一律に行わない。

本人が扶養照会を拒否し理由が適切であれば照会をかけない対応を要望する。困難を抱える子どもたちの支援について

国はヤングケアラーの抽出調査で初めて当事者の中高生を対象に。市独自の実態調査が必要。どうか。国の調査を参考に。ヤングケアラーや経済的に困難を抱える子どもたちは本来守られるべき「健康を守る権利、教育を受ける権利、育つ権利」等が侵害されている。コロナ禍でどの子どもたちにも寄り添った支援が重要。子どもの権利条例制定を実現すべき。

今は条例の調査研究を進めているがコロナ禍で優先すべきことを行っている。

コロナ禍だからこそ、子どもの権利条例が必要。水道料金の値上げ問題

懇話会の改定案は多くの市民が使う料金帯は毎月平均239円の値上げ、企業は市民の4千倍使うのにわずか30倍の6932円。市民に厳しく企業に甘い提言を市の方針とするのか。

幅広い立場から議論した。提言を尊重する。コロナ禍で料金の値上げを行うかは再検討すべき。

宇田実生子
ひまわり会と市民オンブズマン

変異株により若い方の感染比率が増加。若い方への新たな情報発信が大切。あらゆる世代が当事者と認識を持つように周知。

予約割合電話25%・インターネット75%の設定根拠、予約システムの問題は。先行市の実施状況から最適な割合を調整。インターネットでの予約が困難な市民への対応が課題である。

「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」を千葉県と山武市等11市が表明。佐倉市は準備中、宣言日も未定。その理由を問う。

国の地球温暖化対策推進法改正、地球温暖化対策

の見直しを注視していた。

カーボンニュートラル実現は、地元企業や住民が地球温暖化への意識を高める努力を行い、その行動を地域の実情に即した脱炭素型に変えていくことが必要。宣言のみではなく、実行可能な計画策定を求める。

管理会社社長逮捕・テレビ報道を受け、多くの市民が地下水汚染、悪臭等の環境問題、火災発生等を懸念している。県の行政代執行を期待、県に確認したが、現状では困難。県が廃棄物と認定したことから、市の迷惑防止条例を適用できると考える。第15条第3項のつとり是正を要請したか。

市条例に基づく要請はしていない。

条例を適用し県と協力し解決にあたる必要がある。

国が目指すべきビジョン、「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」の実現のため、自治体が重点的に取り組むべき事項・内容を具体化するとともに、総務省及び関係省庁による支援策などを取りまとめたもの。

用語解説

※1自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)推進計画

主な議案の概要

5月臨時会

市長から提出された議案第1号〜第3号は、専決処分承認を求めること、議案第4号は監査委員の選任に関する議案です。

議案第1号 専決処分の承認を求めるものについて

国の進める低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金について、ひとり親世帯を対象とする給付内容が示され、早急に事業着手する必要があることから、歳入歳出予算それぞれ1億523万9千円を計上したものを。

6月定例会

市長から提出された議案のうち、議案第1号〜第3号・第12号は令和3年度の各会計の補正予算、議案第4号〜第9号は条例の制定、議案第10号は財産の取得、議案第11号は損害賠償額の決定及び和解、諮問第1号〜第4号は人権擁護委員候補者の推薦に関する議案です。

議案第1号 令和3年度佐倉市一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ1億4572万5千円を増額するもので、補正後の予算額は、477億7682万4千円。

歳入は、国庫支出金、繰入金、諸収入の増額。歳出の主なものは、自主防災組織支援事業、コミュニティ環境整備事業、子育て世帯生活支援特別給付金支給事業、教育課題研究事業の増額。

債務負担行為の補正は、白井公民館外1施設 ※2ESCO サービス委託2件の追加。

議案第7号 佐倉市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した者に対する減免申請手続の特例の適用期限を1年延長するもの。

議案第10号 財産の取得について

第二・第三西志津学童保育所として使用する西志津小学校仮設校舎のリース期間の終了に伴い、当該建物を引き続き学童保育所として使用するため、4399万8900円をもつて取得するもの。

議案第12号 令和3年度佐倉市一般会計補正予算

国から、生活困窮者に対して新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を給付する方針が示されたため、歳入歳出それぞれ8116万1千円を増額するもので、補正後の予算額は、478億5798万5千円。

歳入は、国庫支出金の増額。歳出は、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業の増額。

令和3年5月臨時会 議案賛否一覧

議決結果欄 承認 同意
賛成 反対 除斥 議長

議案番号	議案名	議決結果	さくら会										公明党				自由民主 さくら				市民ネット ワーク			ひまわり会 と市民オン ブスマン		日本 共産党		会派に 属さない議員			
			No.										No.				No.				No.			No.		No.					
			9	10	16	17	18	22	23	24	27	28	7	8	25	26	5	6	14	15	1	2	19	4	21	13	20	3	11	12	
			密本成章	岡野敦	斎藤明美	敷根文裕	高木大輔	平野裕子	爲田浩	石渡康郎	櫻井道明	中村孝治	押木孝和	鍋田達子	久野妙子	岡村芳樹	齋藤寛之	石井秀明	徳永由美子	山本英司	松島梢	川口絵未	五十嵐智美	宇田実生子	藤崎良次	木崎俊行	萩原陽子	高橋とみお	稲田敏昭	玉城清剛	
市長提出議案																															
1	専決処分の承認を求めることについて (令和3年度佐倉市一般会計補正予算)	承	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	専決処分の承認を求めることについて (佐倉市税賦課徴収条例の一部を改正する条例)	承	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	
3	専決処分の承認を求めることについて (佐倉市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	監査委員の選任について (石渡 康郎 (いしわた・やすお) 氏)	同	○	○	○	○	○	議	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	

令和3年6月定例会 議案賛否一覧

議決結果欄 可決 否決 同意 採択 不採択
賛成 反対 議長

議案番号	議案名	議決結果	さくら会										公明党				自由民主 さくら				市民ネット ワーク			ひまわり会 と市民オン ブスマン		日本 共産党		会派に 属さない議員			
			No.										No.				No.				No.			No.		No.					
			9	10	16	17	18	22	23	24	27	28	7	8	25	26	5	6	14	15	1	2	19	4	21	13	20	3	11	12	
			密本成章	岡野敦	斎藤明美	敷根文裕	高木大輔	平野裕子	爲田浩	石渡康郎	櫻井道明	中村孝治	押木孝和	鍋田達子	久野妙子	岡村芳樹	齋藤寛之	石井秀明	徳永由美子	山本英司	松島梢	川口絵未	五十嵐智美	宇田実生子	藤崎良次	木崎俊行	萩原陽子	高橋とみお	稲田敏昭	玉城清剛	
市長提出議案 ※白抜き数字は諮問番号																															
1	令和3年度佐倉市一般会計補正予算	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	×	○	
2	令和3年度佐倉市国民健康保険特別会計補正予算	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	令和3年度佐倉市介護保険特別会計補正予算	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	
4	佐倉市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	×	○	
5	佐倉市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6	佐倉市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	佐倉市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8	佐倉市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	×	○	
9	佐倉市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	×	○	
10	財産の取得について (第二・第三西志津学童保育所)	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
11	損害賠償の額の決定及び和解について	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12	令和3年度佐倉市一般会計補正予算	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1	人権擁護委員候補者の推薦について (岩井 睦 (いわい・むつみ) 氏)	同	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	人権擁護委員候補者の推薦について (吉森 文男 (よしもり・ふみお) 氏)	同	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	人権擁護委員候補者の推薦について (小山田 秀男 (おやまだ・ひでお) 氏)	同	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	人権擁護委員候補者の推薦について (木内 達彦 (きうち・たつひこ) 氏)	同	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願																															
15	「国における2022年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	国の2030年エネルギー基本計画改定に関する請願	不	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	
18	新型コロナ禍による米危機の改善を求める請願	不	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	
19	「日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書」の提出を求める請願書	不	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	
議員提出議案 ※数字は発議案番号																															
1	国における令和4年度教育予算拡充に関する意見書	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○
4	新型コロナワクチン接種の安全性確保及び個人補償についての情報提供を十分に行うことを求める意見書	否	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5	東京オリンピック・パラリンピックの開催中止を求める意見書	否	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	
6	千葉県立高等学校の校則を生徒の理解が得られる内容に改善するよう求める意見書	否	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
7	「重要土地調査規制法」施行の凍結を求める意見書	否	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	
8	「デジタル改革関連法」施行の凍結を求める意見書	否	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	
9	非人道的な入管収容制度と、世界的に類を見ない閉鎖的な難民認定制度を抜本的に見直すことを求める意見書	否	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	

用語解説

【除斥(じょせき)】『除斥』とは、議会における審議の公正を期するため、議案と一定の利害関係を有する議員が当該議案の審議に加わることができないという制度です。5月臨時会においては、議員の一人を監査委員として選任しようとする議案(議案第4号)について、該当する議員は議場から退場し、採決に不参加となりました。

わくわく5分

議案第1号、第12号 令和3年度佐倉市一般会計補正予算に賛成

本予算案には、「子育て世帯生活支援特別給付金」や「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」など、新型コロナウイルス感染症により深刻な打撃を受けている市民を支援するために必要な予算が計上されるなど、時宜を得た予算案と判断し賛成した。

また、議案第1号には、前定例会で可決した「新型コロナウイルス感染症対策の一層の充実を求める決議」に基づく議会費の減額分も含まれており、この財源を有効的に活用し、当該決議で求めた、新型コロナウイルス感染症対策の充実に資する事業の早期提案を期待している。

議案第10号 財産の取得に賛成

第二・第三西志津学童保育所として活用している仮設校舎のリース契約が満了することに伴い、当該建物を継続使用するために取得しようとする議案であり、様々な手法を検討した上で、より効率的な手法が提案されることにも、将来的には、校舎内の空き教室の活用をも見込んでいくことが確認できたことから、賛成した。

請願第15号、第16号、発議案第3号に賛成

義務教育は、日本国憲法及び教育基本法で保障された国民の権利であり、将来を担う子どもたちの健全な成長に欠くことのできない制度であることに鑑みれば、地域や世代の差異で格差を生じさせることなく、教育環境を一定水準で維持することが重要であり、その一義的な責任は国にあるものと認識している。

今回、「子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会」から提出された請願2件は、義務教育水準を維持するための財源確保を国に要望しようとするものであり、賛成した。

また、情報通信技術の進展は教育現場にも大きな影響を及ぼしており、「GIGAスクール構想」による情報端末の導入など、学校教育の在り方も大きく変容しつつあるものと認識している。この変容に的確に対応するためには、教職員の知見向上や必要な予算の確保など、国による適切な措置が不可欠であり、発議案第3号「学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書」にも賛成した。

請願第17号 国の2030年エネルギー基本計画改定に関する請願に反対

エネルギー基本計画は、「エネルギー政策基本法」に基づき、エネルギー需給に関する施策の基本方針等について整理されるものであり、環境保全や資源確保、技術革新や経済性など、エネルギー政策が抱える様々な課題などを勘案し、総合的な見地から策定されるべき計画と理解している。

第6次計画の策定において、法令の定めるところにより、関係行政機関や総合資源エネルギー調査会など、多様な意見を聴取した上で、計画策定が見込まれること

とから、具体的な数値目標等については、それら専門家などの意見を踏まえ設定されるべきと考える。本請願が指摘する環境問題への懸念なども理解するところではあるが、市民生活や地域経済をも守る立場にある地方議員には、法令や計画の目的に照らし、技術革新や経済性など、多角的な視点で責任のある判断が求められているものと考へており、本請願には反対する。

公明党

議案第1号及び第12号「令和3年度佐倉市一般会計補正予算」に賛成

長期化するコロナ禍において「子育て世帯生活支援特別給付金支給事業」や「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金事業」に加え、自主防災力向上の「自主防災組織支援事業」等、市民の安全・安心を守る重要な施策に係る補正予算であり賛成。

議案第10号「財産の取得」に賛成

西志津小学校仮設校舎のリース期間満了に伴い、引き続き第二・第三西志津学童保育所として利用するため、市が購入するもの。西志津小学校の児童数は、ピークを過ぎ減少傾向だが、児童保育所利用者は、逆に増加傾向にある。今後児童数の推移予測や施設の耐震等を含めた耐用年数は、教育委員会や資産経営部等関係部署とも連携し、適切な運用を図るよう申し上げ賛成。

このようなりース満了物件の買取り価格は、さらに精査した上で再交渉する等、コロナ禍で市税収入が大幅に減少していることに鑑み、最少経費で最大効果が現出するよう、交渉力の対応強化に努めて頂きたい。

自由民主党

議案第1号令和3年度佐倉市一般会計補正予算について以下の点を申し添え賛成致します。

子育て世帯生活支援等特別給付金支給事業は、令和3年度分の住民税が非課税の方を対象に支給されるものですが、支給見込み児童数は2515人となっており、先のひとり親世帯分の給付金支給見込み児童数と合わせると、4千人を超える児童の家庭がコロナの打撃を受けている状況です。その後新型コロナウイルス感染症の影響で家計が急変し、住民税非課税相当の収入になった場合も令和4年2月末まで申請が可能となりますので、定期的な周知や学校のマチコミなども活用し、必要な方に情報を届け、迅速な支給につなげるための取り組みを求めます。

また議案第10号の西志津小学校仮設校舎の財産取得について賛成はするものの、減少傾向にある児童数ではあるが、文部科学省の通達

による段階的な35人学級への移行、またインクルーシブ教育の推進による特別支援学級の増加傾向などを考慮し、仮設校舎の在り方については教育委員会と連携し、またPTA、保護者の皆さんに説明を行い、しっかりとした見通しを持って検討を進めていただきたい。

市民ネットワーク

反対する主な理由

議案1号和田ふるさと館、臼井公民館のエスコサード委託は総事業費約2億4千万円・期間10年。民間業者が空調設備を改修し省エネ効果を保障する事業だが、省エネ診断を行わず詳細なデータがない。期間内の改修工事も事業対象外であれば全額市の負担になる。直営で改修した場合と比較し、費用対効果を分析するべき。

議案4号消費税10%増税の影響を緩和する特例が含まれるが、生活に直結する消費税減税が必要と考える。議案8・9号民間の保育事業者が卒園後の3歳以降の連携施設を確保せずに参入でき、処遇に不安がある。

請願17号に賛成国のエネルギー計画改定の電源構成を要因の石炭火力や、老朽化した原発の再稼働を含む原子力発電を廃止、再エネを60%から100%にと主張。持続可能な社会に向け大胆な提言を行うべきである。

議案1号和田ふるさと館、臼井公民館のエスコサード委託は総事業費約2億4千万円・期間10年。民間業者が空調設備を改修し省エネ効果を保障する事業だが、省エネ診断を行わず詳細なデータがない。期間内の改修工事も事業対象外であれば全額市の負担になる。直営で改修した場合と比較し、費用対効果を分析するべき。

ひまわり会と市民オンブズマン

新型コロナウイルスワクチンと予防接種健康被害救済制度

ワクチン接種について重大な副反応報告がある。厚労省HP「新型コロナウイルスワクチンの副反応疑い報告について」では、本年2月17日から5月30日の間で、「情報不足等により因果関係が評価できないもの」とされつつ「接種後の死亡」が139件と報告された。一方、予防接種と健康被害との因果関係が認定された方を救済する「予防接種健康被害救済制度」がある。死亡一時金は4420万円が給付される。これらの情報提供を十分行う事を国に求める意見書案を提出した。

日本共産党

独自努力放棄の民活議案

コロナ禍、国費による子育て世帯給付や国保傷病手当延長など賛成すべき件も並ぶ議案第1号だが、公民館2施設への省エネ対策に10年間で約2億4千万円支出のエスコ事業は契約時に省エネ効果が約束されても技術革新の反映は無い。また設置された備品類の財産権が市に帰属しない。省エネを指して市内産業と連携し、地域経済の活性化と職員育成が可能な施策を選択すべきで、市の独自努力を放棄し国策追従の予算に反対。介護の負担増に必要なしシステム改修に反対。切実な市民の請願に賛成。

会派に属さない議員

議席3番 間之町の山車人形復元事業を含む議案第1号に賛成

間之町の山車人形といえば狸々(しょうじょう)。江戸時代の天下祭りで使われていた山車や山車人形をこれだけ豊富に観られるお祭りは佐倉の秋祭りにおいて他にない。7本揃って観られる秋祭りが今から楽しみ。

議席11番 「重要土地調査規制法」施行の凍結を求める意見書に賛成。政府が安全保障上重要と判断しただけで、重要施設の周囲1kmを「注視区域」に指定、土地や建物の持ち主や借り主について調査できるようにする。戦前の特高警察体制が忍び寄ってきている感じがする。

議席12番 国の教育予算拡充に賛成

子ども達の健全育成と豊かな教育実現は必須である。少人数学級実現と義務教育教科書の無償制度堅持は必要である。また、教職員の拡充も重要。少子化を鑑み国の教育環境整備予算の増額を願いたい。請願15号に賛成する。

※議席番号と議員名の確認は6ページの議案賛否一覧をご覧ください。



委員会報告

※議案は市長提出議案

総務常任委員会

開催日：令和3年6月21日 / 場所：全員協議会室
議案7件、請願1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

《審査結果》

議案1	議案2	議案4	議案5	議案6	議案11
可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案12	請願19				
可決	不採択				

文教福祉常任委員会

開催日：令和3年6月22日 / 場所：全員協議会室
議案7件、請願2件について審査し、その結果は左表のとおりです。

《審査結果》

議案1	議案3	議案7	議案8	議案9	議案10
可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案12	請願15	請願16			
可決	採択	採択			

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

第二・第三西志津学童保育所として利用するため購入する西志津小学校仮設校舎については、今後児童数の推移予測や耐震等を含めた耐用年数の考慮を求める旨の意見を踏まえ、教育委員会等関係部署と連携を図り、適切な運用を図っていただきたい。

経済環境常任委員会

開催日：令和3年6月23日 / 場所：全員協議会室
請願2件について審査し、その結果は左表のとおりです。

《審査結果》

請願17	請願18
不採択	不採択

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・請願第17号が指摘する環境問題への懸念も理解するが、市民生活や地域経済を守る立場にある地方議員は、法や計画の目的に照らし、技術革新や経済性など多角的な視点から、責任ある判断をすべきである。
- ・請願第18号の趣旨が意図するところの政府による特別な隔離政策は、従来から推進している需給調整政策との矛盾を生じさせるものと捉えており、さらには国際協定に基づく外国産米の輸入数量を抑制することは、国際的信用の失墜を懸念するものである。

※建設常任委員会は、今定例会では付託された議案がないため開催されておりません。

議会の構成

～各委員会の構成が変わりました～

※佐倉市議会委員会条例に基づき、常任委員の任期は1年です。 ◎委員長 ○副委員長

総務常任委員会



松島 梢 鍋田達子 齋藤寛之
高木大輔 ◎敷根文裕 ○櫻井道明 木崎俊行

文教福祉常任委員会



宇田実生子 石渡康郎 稲田敏昭
平野裕子 ◎岡村芳樹 ○徳永由美子 中村孝治

経済環境常任委員会



密本成章 押木孝和 高橋とみお
五十嵐智美 ◎爲田 浩 ○山本英司 藤崎良次

建設常任委員会



石井秀明 玉城清剛 岡野 敦
萩原陽子 ◎久野妙子 ○齋藤明美 川口絵未

●会派・各常任委員会等 議長 平野裕子 副議長 高木大輔 議席番号順、※会派代表者、◎委員長、○副委員長、◇オブザーバー

会派	委員会 総 常 任 委 員 会	文 教 福 祉 常 任 委 員 会	経 済 環 境 常 任 委 員 会	建 設 常 任 委 員 会	議 会 運 営 委 員 会	議 会 改 革 推 進 委 員 会	広 報 公 聴 委 員 会
さくら会	◎敷根文裕 高木大輔 ○櫻井道明	平野裕子 石渡康郎 ※中村孝治	密本成章 ◎爲田 浩	岡野 敦 ○齋藤明美	密本成章 齋藤明美 ○敷根文裕 爲田 浩	敷根文裕 ◇平野裕子 ※中村孝治	密本成章 岡野 敦 齋藤明美 ◎敷根文裕
公明党	鍋田達子	◎岡村芳樹	押木孝和	◎久野妙子	◎岡村芳樹	久野妙子 ※岡村芳樹	鍋田達子
自由民主党	齋藤寛之	○徳永由美子	◎山本英司	石井秀明	石井秀明	石井秀明 ※山本英司	○徳永由美子
市民ネットワーク	松島 梢		※五十嵐智美	川口絵未	川口絵未	※五十嵐智美	松島 梢
ひまわり会と 市オンプスマン		宇田実生子	※藤崎良次		宇田実生子	※藤崎良次	宇田実生子
日本共産党	※木崎俊行			萩原陽子	萩原陽子	※木崎俊行	萩原陽子
会派に 属さない議員		稲田敏昭	高橋とみお	玉城清剛			高橋とみお

●組合議会等 議席番号順

印旛衛生施設管理組合	木崎俊行、 徳永由美子
印旛利根川水防事務組合	爲田 浩
佐倉市、酒々井町清掃組合	山本英司、高木大輔、 久野妙子
佐倉市、四街道市、酒々井町 葬祭組合	五十嵐智美、 萩原陽子、藤崎良次
佐倉市八街市酒々井町消防組合	敷根文裕、岡村芳樹、 櫻井道明
千葉県後期高齢者医療広域連合	中村孝治
印旛郡市広域市町村圏事務組合	平野裕子（議長）
佐倉市監査委員	石渡康郎

8月定例会の予定

- ◆議会運営委員会 8月17日(火)
- ◆招集日 8月23日(月) 午後1時から
- ◆一般質問 8月30日(月)～9月2日(木)
- ◆常任委員会 9月6日(月)～9日(木)
- ◆決算審査特別委員会 9月13日(月)～16日(木)
- ◆最終日 9月21日(火) 午後1時から

☆日程は変更になることもありますので、詳細につきましては議会事務局までお問い合わせください。
議会事務局 ☎043-484-6254

- インターネット中継：本会議(招集日・一般質問・最終日)の様態を開催時間中にライブ中継するほか、開催日のおおむね1週間後から録画中継を配信。
- CATV議会放映：本会議の様態を開催日翌日午後5時30分から放送。
【地上デジタル10チャンネル、デジタルCATV301チャンネル】

議会百景

市議会に関わってきて感じていることは、地方議会の役割、地方議会議員の活動などあまり知られていないということです。

皆さんに知ってもらうためにデジタルとしてネットやSNSがいくら進んでもアナログの紙媒体は大切です。市民の皆様は手に取ってもらえる、読んでもらえる議会だよりを目指し改善・充実に取り組んでいきます。

(広報公聴委員長 敷根文裕)

5月1日号では100号記念、そして新たなスタートとなる今回の101号は、佐倉市初の女性議長を紙面のトップで紹介させていただいています。

議会報告はどうしても文字が多くなりがちですが、女性の視点でさらに読みやすい紙面を目指してまいります。スマホでもご覧いただけるマチイロアプリもぜひご利用ください。

(広報公聴副委員長 徳永由美子)